

# 小輪系アスターの6・7月播き秋出し栽培における 品種別電照反応

工藤寛子・柴田浩

## 1. ねらい

小輪系アスターは従来のアスターに比べて小輪多花性で花色も豊富であるため仏花としてだけではなくアレンジメントなどにも用いることができ、周年の需要が見込まれる品目である。

アスターは花芽分化は長日で促進され、花芽の発達・開花は短日で促進されるため、日長が長日から短日に向かう時期となる6～7月播種(9～11月出し)は花芽分化、発達に適しており、気温も高いので開花が促進し短茎開花する。そこで、開花抑制と品質向上を図るため、好適電照期間について検討した。

## 2. 試験方法

- 1) 試験年次 平成14年
- 2) 試験場所 農試、無加温パイプハウス
- 3) 供試品種  
ステラトップブルー  
ネネホワイト  
ヒメローズピンク
- 4) 播種時期 6月5日、7月5日
- 5) 定植時期 7月4日、8月5日  
(本葉4～5枚時)
- 6) 仕立方法 無摘心
- 7) 電照方法 深夜4時間(22:00～2:00)  
暗期中断
- 8) 電照期間 定植日から6週、8週、  
10週、収穫まで  
対照:無電照
- 9) 電照打ち切り時期  
6月播種…6週:8月15  
日、8週:8月29日、10  
週:9月12日  
7月播種…6週:9月17  
日、8週:10月1日、10  
週:10月15日
- 10) 栽植距離 条間12cm、株間12cm  
6条植え
- 11) 施肥量 基肥(kg/a)N、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>、K<sub>2</sub>O  
各1.5

## 3. 結果及び考察

- 1) 切花盛期は電照を行うことにより遅らせることができ、6週間以上の電照で6月播種の「ステラトップブルー」では無

電照より9～18日、「ネネホワイト」では7～21日、「ヒメローズピンク」では9～33日遅くなった。7月播種では「ステラトップブルー」は11～21日、「ネネホワイト」は8～30日、「ヒメローズピンク」は5～31日遅くなった。

- 2) 電照を行うことにより切花長、切花重が増加して品質が向上し、これらは電照期間が長くなるほど増加する傾向があった(図1、2、3)。切花長は、6月播種では6週間の電照で70～75cm、8週で75～80cm、10週で85cm程度となった。7月播種では6週間の電照で50～55cm、8週で60～70cm、10週で70～80cmとなった。
- 3) 6月播種で2Lを80%以上得るには「ステラトップブルー」は6週、「ネネホワイト」、「ヒメローズピンク」は8週の電照でよく、その場合の切花期は9月12～27日であった(表1)。
- 4) 7月播種で2L割合が高いのはいずれの品種も10週の電照を行った区で、「ネネホワイト」は80%、「ステラトップブルー」は60%程度得られた。「ヒメローズピンク」は10%程度の未収穫個体が見られたが、収穫個体のうち80%程度は2Lが得られた(表1)。10週電照での切花期は「ステラトップブルー」は10月19日、「ネネホワイト」は11月1日、「ヒメローズピンク」は11月19日であった。

## 4. まとめ

小輪系アスターの秋出し栽培において、電照を行うことにより切花盛期を遅らせることができ、切花長、切花重が増加して品質も向上する。定植日から電照を行った場合、6月播きの「ステラトップブルー」は6週間、「ネネホワイト」「ヒメローズピンク」は8週間、7月播きの「ネネホワイト」「ヒメローズピンク」では10週間の電照で2Lが80%以上得られ、7月播きの「ステラトップブルー」でも10週間の電照で2Lが60%程度得られる。

図 表

表1. 6月・7月播き栽培における電照処理が開花・2L割合に及ぼす影響

	電照期間	6月播種				7月播種				
		切花盛期 (月.日)	播種～切花盛期 (日)	消灯～切花盛期 (日)	2L <sup>※1</sup> 割合 (%)	切花盛期 (月.日)	播種～切花盛期 (日)	消灯～切花盛期 (日)	2L <sup>※1</sup> 割合 (%)	未収穫 <sup>※2</sup> 割合 (%)
ステラ トップブルー	無電照	9.3	90	-	0	9.28	85	-	0	-
	6週	9.12	99	28	88.9	10.9	96	22	0	-
	8週	9.16	103	18	100	10.17	104	16	8.6	-
	10週	9.21	108	9	100	10.19	106	4	63.9	-
	収穫まで	9.21	108	-	100	10.19	106	-	48.9	-
ネネホワイト	無電照	9.11	98	-	0	10.5	92	-	0	-
	6週	9.18	105	34	51.7	10.13	100	26	0	-
	8週	9.20	107	22	90.6	10.19	106	18	21.9	-
	10週	9.25	112	13	97.1	11.1	119	17	81.8	-
	収穫まで	10.2	119	-	100	11.4	122	-	90.0	7.0
ヒメローズ ピンク	無電照	9.15	102	-	0	10.19	106	-	0	-
	6週	9.24	111	40	59.5	10.24	111	37	0	-
	8週	9.27	114	29	89.5	11.1	119	31	0	-
	10週	10.4	121	23	100	11.19	137	35	82.1	12.5
	収穫まで	10.18	135	-	100	-	-	-	100	60.0

※1 2L割合…収穫個体中の70cm以上の割合(%)

※2 未収穫割合…試験打ち切り時(11月28日)の未収穫個体の割合(%)

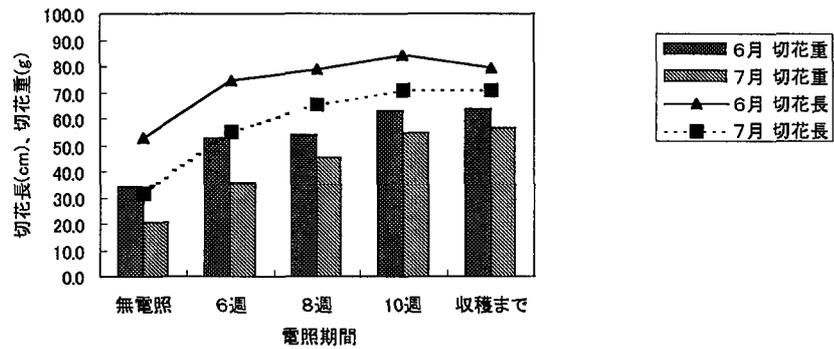


図1. 電照処理が切花長・切花重に及ぼす影響  
(ステラトップブルー)

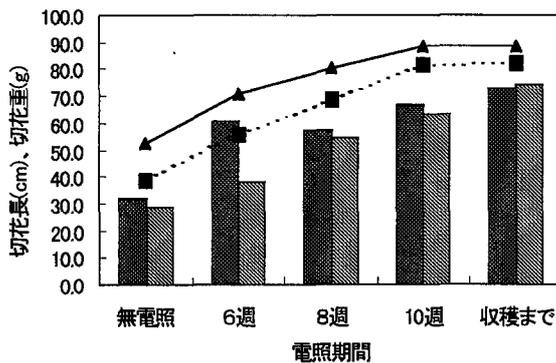


図2. 電照処理が切花長・切花重に及ぼす影響  
(ネネホワイト)

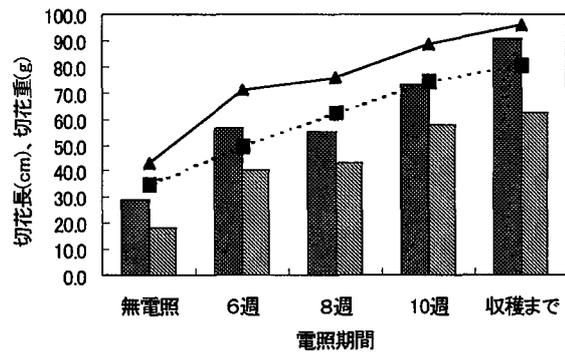


図3. 電照処理が切花長・切花重に及ぼす影響  
(ヒメローズピンク)